

日本の少子化問題

少子化とは、「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値である『合計特殊出生率』が人口を維持するのに必要な水準を相同期間下回っている状況」と定義されています。

日本における出生数と合計特殊出生率について、第1次ベビーブームがあった1949年の出生数は269万人で、合計特殊出生率は4.32と過去最高でした。

その後徐々に減少が進み、2022年の出生数は77万747人となり、過去最低を記録しました。出生数は、国の推計よりも11年早く80万人を下回りました。

日本の総人口についても、2010年の1億2806万人をピークに減少の一途をたどっています。25年後の2048年には9913万人と想定され、1億人を切ると思われる(1)。人口を維持するために必要な出生率の水準を下回っている状況は、年金や医療などの社会保障にも大きな負担がかかっています(2)。

少子化の原因については、「晩婚化・非婚化」、「女性の社会進出」、「育児に係る経済的負担の増加」などの様々な理由が考えられます。それに対し国では、「育児支援」や「子育てしやすい地域づくり政策」などを実施しているものの、少子化(特に出生率)の改善はすぐに結果が出るのではなく、地域

によって課題も様々であるため、地域の実情に応じた少子化対策を各自治体で行う必要があります。

鳩山町の現状

現在の鳩山町は、年少(15歳未満)人口割合7.0%に対して、高齢者(65歳以上)人口割合が45.9%と少子高齢化が進行しています。

また、合計特殊出生率は1.05(全国平均1.43)となっており、県内で低いほうから2番目、全国自治体の低いほうから21番目と低い数値になっています。

令和4年度の鳩山町の出生数は31人で、前年の47人から16人減少しました。また、死亡数は197人、転入者は386人で転出者は357人となり、転入者が転出を上回りましたが、自然減により全体で鳩山町の人口は125人の減少となりました。年齢別の人口を見ると、64歳以上が6035人で人口の45.5%を占めています。この数字からも町の少子高齢化が進んでいることが分かります(3)。

どうする鳩山の少子化対策

鳩山町の子育て支援は、子ども医療費18歳までの助成事業、保育園等の待機児童ゼロ、町内全小学校に児童保育所整備、給食費減免事業、病児・病後

児保育事業など現時点でも他の先進自治体に負けないくらい充実しています。

しかし、子育て支援のみでは、0歳から14歳までの町の子ども人口は増えませんでした。

逆に、首都圏に近い市町では、保育園や学童保育に待機児童が多数ある状況でも、子どもの人口が増えている事例もあります。鳩山町の場合、町から転出する方のアンケート調査では、転出する決め手になった主な理由は「交通の便の悪さ」、「勤務地や学校が遠い」、「商業施設などが充実していない」などの理由でした。

「住みたいまち」の基準は、年齢とライフスタイルとともに変わります。大学生などは、子育ての環境などに、あまり興味はないかもしれませんが、結婚し、出産し、子育てとなった場合に、自身の経済力や交通の便、子育て環境などを考えるようになります。

少子化対策には、ライフステージに応じた子育て支援施策と併せて、交通(住宅)雇用など総合的な施策を行う必要があるということです。

鳩山町は、鉄道駅がなく、交通の便が悪いという、大きなハンディキャップを抱えています。鳩山町に転入してくる方へのアンケート調査では、「自然が豊か」、「住宅規模や価格など住宅事業がよい」、「都内に比べ物価が安い」というところに魅力を感じることが多いと多数ありました。

特集

どうする！少子化対策

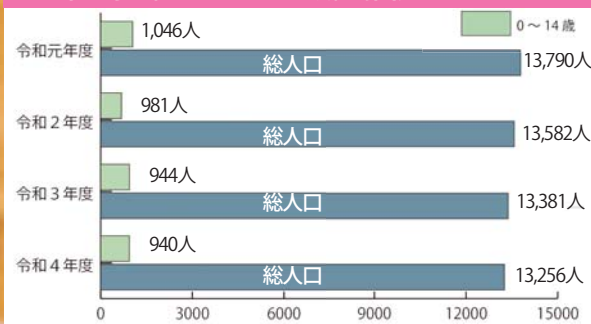
～みんなで作った「鳩山町少子化対策チャレンジプラン」～

また、「小さなまち」だからこそできる人のつながりを大事にした子育て支援なども魅力となると思います。

鳩山町では、令和5年11月1日に、町民の皆さんと町職員で手作りで作った少子化対策の計画を策定しました。今後は、この計画に基づいて、子どもの人口を増やすための施策にチャレンジしたいと考えています。

今回は、みんなで作った「鳩山町少子化対策チャレンジプラン」について特集します。

鳩山町の総人口と0～14歳の推移



*1 内閣府平成24年版高齢社会白書
*2 厚労省令和4年人口動態統計
*3 鳩山町年齢別人口統計表(令和4年4月1日時点)

▶先進自治体への視察研修

少子化対策に係る事例などの情報をベースに、今後の町の施策を検討するため、少子化対策において先進的な施策を実施している自治体を視察しました。どの町も出産・子育てといったライフステージに応じた、総合的な子育て支援を行っていました。

やまとちょう 熊本県山都町

合計特殊出生率が1.99と全国的に高い数値で、町内に鉄道や有料道路等の公共交通がない点が鳩山町と類似していました。

また、子育て支援として「出産祝い金・誕生祝い金制度」や「一般・特定不妊治療費助成制度」、「子育て支援アプリ【だっこ(母子モ)】」「結婚対策事業【YOU&YOU】」など様々な事業を実施していました。



ながすまち 熊本県長洲町

合計特殊出生率が1.86と全国的に高い数値で、町内に鉄道(1時間に1~2本)は存在するが、有料道路等の公共交通がなく、町民の主要な移動手段は自家用車であることから、鳩山町と類似していました。

子育て支援対策として、「共働き世帯応援」や「電子母子手帳アプリ」、幼児期からの英語教育、「小中学生への英語検定受験料補助」など様々な事業を実施していました。



おおいまち 神奈川県大井町

合計特殊出生率が1.30で、平成29年以降、社会増による人口増加が自然減を上回っています。また、町内には無人の鉄道駅がありますが、運行本数は少なく、主な移動手段は自家用車であること、住宅地整備として区画整理事業を行っていることから、鳩山町と状況が近かったためです。

移住支援対策として、「お試し住宅」や「3世代同居等移住定住促進補助金」、「住宅取得補助金」など様々な事業を実施していました。



リーダー
荒井 優理 さん

総合的な施策が必要

プロジェクトチームでは、鳩山町の少子化の現状と課題を統計的に分析した上で、子育て懇談会やアンケート調査などにより、町民の少子化対策等の要望をお聞きし、さらに先進自治体を視察し、具体的な少子化対策などを検討しました。

調査の結果、鳩山町の行っている子育て支援事業は、現状でも先進自治体と比較しても負けないくらい充実した事業を行っています。しかし、少子化対策には、子育て施策だけでは効果がなく、住宅交通・雇用など、総合的な施策に取り組む必要があることが分かりました。

また、出生率を上げることは時間がかかるため、同時に子育て世帯の移住促進も必要と考えます。

鳩山町少子化対策検討プロジェクトチームの活動報告

プロジェクトチームの設置

少子化は、鳩山町においても重大な課題となっています。

このため、町では、「少子化を取り巻く現状と課題を踏まえ、より効果的な子育て支援及び少子化対策の具体的な施策を検討すること」を目的に、令和5年5月1日に「鳩山町少子化対策検討本部会議」を設置し、この本部会議の中で、少子化対策等の実務的な調査・研究を行う「鳩山町少子化対策検討プロジェクトチーム」(以下プロジェクトチーム)というを設置しました。

このプロジェクトチームのメンバーは、課を横断した12人の職員で、「先進自治体の自然増政策

研究グループ」、「先進自治体の社会増政策研究グループ」、「鳩山町の自然増・社会増状況徹底分析グループ」、「政策アピール方法徹底分析グループ」の4つのグループに分かれて調査を進めました。

「先進自治体の自然増政策研究グループ」、「先進自治体の社会増政策研究グループ」は、自然・社会増減のそれぞれの面から、鳩山町の参考とすべき自治体を選定し、行政視察を行いました。また、「鳩山町の自然増・社会増状況徹底分析グループ」では、鳩山町の人口や世帯数、出生数、転出入のアンケート等の各情報を集計し、統計的な視点から少子化に係る原因や問題点を探りました。



プロジェクトチームのミッション

01 鳩山町の少子化の現状分析や他の先進自治体の調査・研究

02 少子化対策に係る具体的な政策・事業の検討・企画立案

03 少子化対策事業の予算化

プロジェクトチーム進捗状況



5月 1日 本部会議にてプロジェクトチーム発足

6月 16日 第1回プロジェクトチーム会議

7月 プロジェクトチーム員の設置、先進自治体調査・分析の担当分けについて

8月 5日 第2回プロジェクトチーム会議
各グループの調査・分析の中間報告及び視察先候補の決定 など

8月 1日~26日 少子化対策&子育て支援施策についてアンケート調査実施

26日 子育て懇談会開催

9月 29日~30日 自然増グループの先進自治体視察研修

9月 19日 社会増グループの先進自治体視察研修

10月 27日 第3回プロジェクトチーム会議
中間報告書、具体的な少子化対策の検討について など

10月 2日 本部会議にて中間報告書を提出

11月 16日 第4回プロジェクトチーム会議
最終報告書、政策検討等について など

11月 1日 本部会議にて少子化対策チャレンジプラン決定!

こんなご意見が出ました！

子育て懇談会とアンケート調査では、それぞれの分野で様々な意見がでました。主なご意見をご紹介します。その中には、将来に希望が持てる夢のある計画を考えてほしいなどたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。

▶ こどもの居場所について



- 小学生のために屋内で遊ぶことのできる児童館のような場所の整備
- 小学生を対象としたイベントの開催
- こどもが遊べる公園の整備
- 地域人材である高齢者の協力

▶ 教育について



- 多様な教育環境(学校以外の選択肢を)
- 教育の充実
- 有機、減農薬野菜を取り入れた安心安全な給食を
- 特色のある最先端の教育(生成 AI 等)

▶ 交通・通勤・通学について



- 交通手段の確保
- バスの本数の確保
- 交通もしくは自家用車対策
- デマンドタクシー(他の地域の人も乗れるように)
- 学生通学費の補助

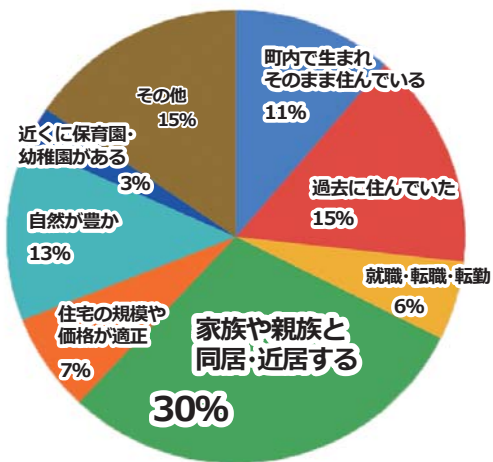
▶ まちづくりについて



- 空き家の活用(雑草等の管理を含む)
- 街灯の増設
- 家屋のリフォーム補助
- 引っ越しの際の補助
- 小児科・産科・助産院が欲しい

少子化対策 & 子育て支援施策についてのアンケート調査

質問 鳩山町に住もうと決めたきっかけは？



アンケートから抜粋して掲載

アンケートの調査項目



- お住まいの地区を教えてください。
- あなたの家族構成を教えてください。
- 同居している子ども(高校生以下)の人数を教えてください。
- 世帯全員の人数を教えてください。
- あなたは鳩山町に何年住んでいますか。
- 鳩山町に住もうと決めたきっかけを教えてください。
- 今後も鳩山町に住み続けたいですか。
- 【⑦で「町外へ転居する予定がある」と答えた方】転居時期はいつ頃ですか。
- 町の現在の少子化対策の取組に対して、ご意見ご要望及び改善点等がありましたら、ご記入ください。
- 現在、町が実施していない子育て支援に関する取組のうち、今後実施してほしい取組があれば教えてください。
- 今後町が移住促進するために必要な事業があれば教えてください。(子育て支援事業以外)

町内の 子育て世代の 声を 聴きました！



子育て懇談会の様子

子育て懇談会に参加してみて、どうでしたか？

【小学生と幼稚園児を子育て中の齋藤さん】

子育て世帯の保護者の生の声を伝える機会を設けてくれたということが嬉しかったです。鳩山町は小さな町ですが、小さいからこそ、住民の声が行政に届きやすいというメリットに変えていってほしいです。自然も豊かで、住んでいる人も優しい方がたくさんいますので、移住してくる方が増えて活気のある町になってほしいです。



【小中学生と幼稚園児を子育て中の安田さん】

色々な方々の意見が聞けたのでとても嬉しかったです。今鳩山町にお住まいの住民にはいろんな要素を持っている方がたくさんいらっしゃるの、皆さんに協力してもらったり子育てしやすい町になることが一番の願い。今後もいろんなイベントやこういった話し合いがあったら嬉しいと思います。



町民の皆さんと作る 計画づくり

プロジェクトチームでは、さまざまな調査と検討を行ってきました。しかし、よりよい少子化対策を考えるために必要なことが、子育て世代のリアルな声を聴くことです。そこで、町内に住む子育て世代の保護者を対象とした少子化対策と子育て支援施策についてのアンケート調査や子育て懇談会を行いました。

少子化対策と子育て支援施策についてのアンケートでは、8月1日(火)〜26日(土)の期間で実施し、子育て懇談会に参加できなかった方や町内に在勤している子育て中の方の意見も広くいただくことができました。また、アンケートの実施方法については子育て等の忙しい間にも回答することができるように、スマホ等から回答できるグループフォームを活用したことで、71件の回答をいただくことができました。

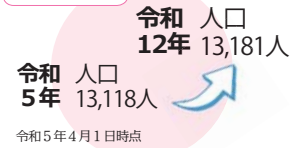
8月26日(土)には、鳩山町在住で未就園児から高校生の保護者層の子育て世代の9人の方にご参加いただき、子育て懇談会を開催しました。

テーマである「鳩山町の子育て支援に求めること」、「鳩山町への移住促進に必要なこと」、「子育てについて不満・不安に感じていること」について、町職員も参加してワークショップ形式のディスカッションを行い、多岐にわたるご意見を伺うことができました。

みんなで作った

鳩山町少子化対策 チャレンジプラン

数値目標



プロジェクトチームでは、町民の皆さんからのご意見を参考に、「鳩山町少子化対策チャレンジプラン(以下、「チャレンジプラン」という)」を策定しました。このチャレンジプランは、令和5年度の人口をベースに令和12年度には、子育て世代の人口を増やすチャレンジ(挑戦する)プランとなっています。

計画では「ライフステージに応じた子育て支援」と「子育て世帯の移住促進」の大きく2つの事業を実施します。

基本理念 ライフステージに応じた一貫した総合的支援と子育て世帯の移住促進

4つの基本方針

子育て世帯への経済的支援

1

出産、妊娠、子育てには経済的な負担が大きくなります。このため、子育てに係る経済的な支援を行います。

子育て世帯への産後ケア

2

妊娠、出産を経た親が、一時的に疲れた心身を癒し、また家族と充実した日々を送れるように子育て世帯に対して、産後ケア・サポートができる環境を整備します。

子育て世帯が働きやすい環境づくり

3

保育所や学童保育所のほかにも、小学生以上のこどもの居場所づくりや地域全体で子育て世帯を支える包括的な支援体制を構築し、子育て世帯が働きやすい環境を整備します。

子育て世帯の移住促進

4

町外からの移住者に対しての経済的な支援及び積極的に企業・商店を誘致することで、地域の魅力を向上させ、子育て世代の移住を促進します。

(写真)皆さまから募集したお子さんの写真を掲載します。たくさんのご応募ありがとうございました。



▲チャレンジプランについてはこちら



施策① ライフステージに応じた子育て支援(基本方針1～3)

鳩山町少子化対策 チャレンジプラン

チャレンジプランでは、子育て世代の方に対して、ライフステージに応じた、一貫した支援を実施し、子育てに対する不安を取り除くことによって、長期的な視点で自然増を増やしていく施策を実施します。子育て世帯が、妊娠・出産・産後・就学前・就学後等、各ライフステージに応じて、支援の切れ目がない包括的な子育て支援や相談体制を充実させ、安心・安全に子どもを育てることができる環境を整備します。

問合せ

- | | |
|--------------------------------|--|
| 政 ・・・政策財政課 ☎ 296-1212 | ま ・・・まちづくり推進課 ☎ 296-1200 |
| 町 ・・・町民健康課 ☎ 296-5891 | 教 ・・・町教育委員会事務局 総務・学校教育担当 ☎ 296-1227 |
| 保 ・・・町保健センター ☎ 296-2530 | 生 ・・・町教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ担当 ☎ 296-1263 |
| 長 ・・・長寿福祉課 ☎ 296-1241 | 幼 ・・・町立鳩山幼稚園 ☎ 296-0592 |
| 産 ・・・産業環境課 ☎ 296-5894 | 給 ・・・町給食センター ☎ 296-0311 |

切れ目のない子育て支援を実施します

結婚前・結婚

結婚を希望する独身の男女が、希望する年齢で結婚できる環境を整備します。

町 SAITAMA 出会いサポートセンター

政 元気アップ婚活事業

政 レインボー婚活事業 **新**



新・・・チャレンジプラン新規事業

※新規事業はチャレンジプランに位置付けた、令和6年度以降実施を検討している事業です。それ以外の事業は既に町で行っている主な事業です。

妊娠・出産・産後

妊娠を希望する人や妊婦に寄り添い、健康面や経済面の支援を実施することで、幸せを感じ、安全・安心に出産・産後を過ごすことができる環境を整備します。

【経済的支援】

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 保 鳩山町早期不妊検査費助成 | 保 鳩山町不育症検査助成 |
| 保 出産応援ギフト・子育て応援ギフト | 保 妊産婦健康診査助成 |
| 保 新生児スクリーニング検査助成等 | 町 はとっこ出産祝金 |

【相談】

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 保 妊婦・乳幼児健康相談 | 町 ひばり子育て相談 |
| 保 こんにちば赤ちゃん訪問事業 | 保 ママナビ教室 |
| 保 鳩山町産後ケア事業 新 | |

【子育て環境整備】

- | |
|-------------------------------|
| 政 鳩山町子育て支援アプリ 新 |
| 保 導入事業 |



就学前

保護者の仕事と子育ての両立や子育て中の孤独感・負担感を取り除く支援を実施することで、幸せを感じながら子育てできる環境を整備します。

【経済的支援】

- | |
|-----------------------------------|
| 町 第2子保育料無償化事業 新 |
| 町 育休取得推進に向けた施策の検討 新 |

【相談・あそび】

- | |
|------------------------------|
| 町 つどいの広場(ぼっぼ) |
| 保 子育て世代包括支援センター「ぴっぴ」 |
| 町 ひばり子育て支援センター キッズルーム |
| 保 すくすく相談 (こどもの発育発達相談) |

【子育て環境整備】

- | |
|--------------------------------|
| 幼 町立幼稚園魅力アップ計画 新 |
| 政 鳩っこイングリッシュ 新 |
| 町 リトミック教室事業 |

就学後

保護者が、学校教育や地域との関わり合いの中で、子どもの成長を見守りながら幸せを感じることができるように、経済面の支援やこどもの居場所づくりを実施することで、安心して子育てができる環境を整備します。

【経済的支援】

- | |
|------------------------------------|
| 教 就学支援制度 |
| 政 鳩山町通学費用一部助成事業の検討 新 |
| 給 学校給食無償化 新 |

【相談】

- | | |
|---------------------|------------------|
| 教 鳩山町教育相談 | 教 さわやか相談室 |
| 教 スクールカウンセラー | |

【子育て環境整備】

- | |
|--------------------------------|
| 町 学童保育所 |
| 生 放課後子ども教室の拡充 新 |
| 政 小学生の居場所づくり事業 新 |



切れ目のない 子育て支援

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 保 子育て世代包括支援センター「ぴっぴ」 | 町 病児・病後児保育事業(小学校修了まで) | 町 ファミリー・サポート・センターの実施 新 |
| 町 子ども医療費支給事業(18歳到達後最初の年度末まで) | 長 総合相談支援窓口 | |

妊婦や子育て世帯を支える「地域全体で包括的支援」

小さな町だからこそできる、きめ細やかな子育て支援を行います！

- 各関係機関と連携した**包括的支援**を実施します
- 結婚から就学後まで一貫した**切れ目のない支援**を実施します
- 地域みんなで**虐待等の見守り・防止活動**を実施します

1 保健センター

子育て世代包括支援センター

※「子育て世代包括支援センター」は、令和6年度から「(仮称)こども家庭センター」に名称が変わります。

10 企業、事業所

9 医療機関

8 (県)保健所、福祉事務所、児童相談所

7 町社会福祉協議会

6 民生委員(児童委員)

5 町民・ボランティア

(見守りはとネット、ニュータウンふくしプラザなど)

2 町民健康課

3 町教育委員会事務局

4 保育園、幼稚園、学校、学童保育所



ニュータウンふくしプラザ はとっこひろば「にこにこ」ボランティアのみなさん

Q. ボランティアのやりがいは？

1番はお母さんが喜んでくれること。お子さんが遊んでいる間に、こどものこと、旦那さんのことなど、お母さんよりは少し経験豊かな私たちが相談のっています。お母さんとお子さんにとって、とても良い時間になっていると思います。

Q. 町内のお子さん、お母さんへメッセージをお願いします

皆さんに、はとっこひろば「にこにこ」を知ってもらって、たくさんの方に来てもらえるとうれしいです。気軽にふらっと寄れる場所でありたいと思います。ご参加、待っています。(詳しくは31ページをご覧ください。)



▲加藤さん、小林さん(前列左から)、佐々木さん、若宮さん、林さん(後列左から)

保健センター(子育て世代包括支援センター)

町保健センターに勤務する職員たち。保健師や助産師、管理栄養士の資格を持った専門職です。ママ/パパが持つ子育て特有の悩み、心配事など...少しでも解消できるよう日頃から相談を受け付けています。

☎ 町保健センター ☎296-2530

気軽に
ご相談
ください。



これがチャレンジプランの主な

新規事業です

1.結婚前・結婚

政 町 レインボー婚活事業

令和6年度に加入が決定している川越都市圏まちづくり協議会の開催する婚活事業と連携して実施します。

2.妊娠・出産・産後

保 鳩山町産後ケア事業

産後において家族等から育児等の十分な支援を受けることが困難で、支援を必要とする母子に対し、助産師等有料で心身のケアや育児サポートする事業を実施します。

政 鳩山町子育て支援アプリ導入事業

予防接種等のスケジュール管理を含む母子手帳機能や子育てに必要な情報をチェックできるアプリを導入し、無償で提供します。

3.就学前

町 第2子保育料無償化事業

子育て世帯の経済的支援のため、町内在住で、第2子の保育園等の保育料の無償化を検討します。

4.就学後

幼 町立幼稚園魅力アップ計画

近年、園児数が減少している町立幼稚園において、幼稚園の魅力アップするために、①三年保育の実施、②預かり保育時間の延長、③学校給食の導入を実施します。

生 放課後子ども教室の拡充

現在、今宿小学校に設置されている放課後子ども教室に加えて、新たに鳩山小学校にも設置を検討します。

政 鳩っここイングリッシュリトミック教室事業

未就学児を対象とした、外国人講師が指導するリトミック教室を開催し、幼児期から英語に触れ、町独自の特色のある教育の実施を検討します。

給 学校給食無償化

鳩山町立小・中学校に在籍する児童・生徒の学校給食費の無償化を実施します。

政 小学生の居場所づくり事業

現在、小学生が安全・安心に遊ぶことのできる室内施設がないため、多世代活動交流センターの一部を利用し、小学生が週末や長期休業中に安心・安全に過ごせる児童館のような場所の設置を検討します。

5.切れ目のない子育て支援

町 ファミリー・サポート・センターの実施

安心して子どもを預けることができる地域相互の助け合いの仕組みとして、こどもの一時預りや送迎などを行うファミリー・サポート・センター事業を実施します。



はとやまで暮らす



県内から鳩山町へ移住

ひでひと
河井 秀仁 さん
りえ
理恵 さん
ひろと
優橙 くん (6歳)

Profile

令和5年6月に埼玉県内から移住された河井さんファミリー。
鳩山ニュータウンにて、在宅ワークで働く秀仁さんと、町内で働き、地元の材料を使ったワークショップもされている理恵さんのお二人で子育てをされています。息子の優橙くんは町立鳩山幼稚園に通園中。



鳩山町に移住したきっかけ

秀仁さん 私が鳩山町出身で、父が住んでいた実家が昨年亡くなったのをきっかけに空き家になっていたので、そこに今年の6月に引っ越してきました。

移住する前の鳩山町の印象は

理恵さん 私は東京都出身で、夫と結婚するまで鳩山町を知りませんでした。移住する前は私自身は歩いて駅に行ける距離にしか住んだことがなかったので、バスを使って駅まで行く環境が初めてだったので、それに車の免許を持っていないので、正直不安のほうが大きかったです。知っている人もまったくいない状態だったので少し抵抗はありました。

移住した後はどうですか

理恵さん もう最高です！車の免許さえあれば、本当に最高だと思って思っていて、自然も豊かで、朝は鳥の鳴き声で起きるのが、素敵だなんて思います。朝は窓を開けて深呼吸して、いい空気を吸っています。あと、なによりも人が優しい。鳩山の人は本当におおらかで「子どもの声がうるさくてすみません」と言うと、「全然いいよ。こどもの声が聞こえると安心するのよ」とか「聞けて嬉しいわ」という言葉を言ってもらえて、本当にありがたいなと思っています。

町での生活について

理恵さん 息子が鳩山幼稚園に通っているんですが、自然体験や季節の行事など、遠足じゃないのに芋堀りができるって最高だなんて思います。幼稚園では絵本を貸出してくれるんですが、親子で読んだ感想を園長先生へ交換日記みたいに書くんです。こどもは本に触れられるし、親子の時間を作ることができるし、とても良い制度だと思います。息子は幼稚園が大好きで、お休みの日も行きがったり、「延長保育して」と

言ったりしているんです。先生がとても丁寧で優しく、鳩山幼稚園で良かったと本当に思います。

町のお祭りもすごく多いし、こどもをどう楽しませているのか町全体で考えてくれているのが、嬉しいなって思っています。

それから、引っ越してきた初日にホテルを見ることができてとても感動しました。

秀仁さんは地元ですが、理恵さんと同じように感じていますか

秀仁さん 地元なので、それほど感じないんです(笑)。でも、小学校時代の同級生はみんな町外に出てしまってますし、こどもが周りに息子しかいないので、周りの方が本当にかわいがってくれています。地域で子育てにかかわってくれている感じがします。

町の不便なところ

理恵さん 交通の面がやっぱり少し不便です。デマンドタクシーの町外運行がもう少し広がるのかなと思います。あと働き口が少ないのも不便かなって思います。

町の子育て支援について

秀仁さん 今、町内に空き家が多くて、空き家の所有者の方に町からの働きかけをもう少しできれば、移住などに繋がるんじゃないかなと思います。
理恵さん (どの)広場「ぼっぼ」の開館時間ももう少し長いと嬉しいですね。

チャレンジプランについて

理恵さん (プロジェクトチーム) すじいです。
秀仁さん すじいね。
理恵さん (計画の資料を見て) 産後ケア事業！本当に必要なことだと思えます。第2子以降の保育料無料はともありがたいです。前に住んでいた市町村ではたしか第3子からだったので、そこはともありがたいです。

— 特集・終 —

町独自

移住促進の主な事業

政 空き家バンク制度

町内の空き家の売買、賃貸を希望する所有者等から申込を受けた情報を、町内への定住等を目的としている利用希望者に紹介する制度です。

政 シェアハウス「はとやまハウス」

鳩山ニュータウン内の空き家を、近隣大学等に通う学生を含んだシェアハウスとして活用し、その後の移住・定住を促進します。

チャレンジプランの新規事業

政 子育て世帯移住推進補助事業

町 町外の子育て世帯の方で、鳩山町で住宅を新築または購入する方に対して、補助金を交付し、移住を促進します。

ま 空き家の残存家財処分補助事業

産 空き家等を処分・活用を希望している方に対して、家財等の処分費を補助することで、住宅の利活用を促進します。

産 企業誘致(商業施設誘致含む)

子育て世帯の就業場の確保や生活基盤の充実等を目的として、町では企業・店舗の誘致を進めます。中長期的視点で取り組みます。

拡充する事業

ま 鳩山町老朽空き家等除却費補助金の拡充事業

補助対象区域を拡大し、老朽空き家等の解消及び住宅の入替を促進します。

